

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	数学Ⅲ	単位数	1単位 (2・3学期)	学年・学科・コース	2年・普通科・普通コース(理系)
使用教科書	高等学校 数学Ⅲ(数研出版)		副教材等	チャート式 解法と演習 数学Ⅲ(数研出版) クリアー数学Ⅲ(数研出版)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	極限、微分法及び積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
1 1	第2章 極限 第1節 数列の極限	・数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限が求められるようにする。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察できるようにする。	○			・数列の極限について、不定形を解消するように式変形して収束、発散を調べることができる。	定期考査 授業態度 課題
				○		・漸化式で定められる数列について、一般項を求めることで、極限を求めることができる。	
					○	・数列の極限を求めるために、様々な方法で不定形を解消しようとする。	
1 2	第2節 関数の極限	・数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。	○			・ $x \rightarrow a$ 、 $x \rightarrow \infty$ のときの関数の極限の表記、および収束する場合に成り立つ極限の性質について理解し、極限を求めることができる。	定期考査 授業態度 課題
				○		・不定形を解消するように工夫して式変形し、 $x \rightarrow \pm\infty$ のときの関数の極限を求めることができる。	
					○	・関数の右側極限、左側極限の考え方に興味・関心をもつ。	
1	第3章 微分法 第1章 導関数	・微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それらを導関数の計算に活用できるようにする。	○			・定義にしたがって導関数を求めることができる。	定期考査 授業態度 課題
				○		・これまで学んだ公式を用いて、新たな公式を証明することができる。	
					○	・連続であっても微分可能でない関数が存在することに興味をもつ。	
2	第2節 いろいろな関数の導関数	・導関数の定義や公式を適用して、いろいろな関数の導関数を導き、それを用いて関数が微分できるようにする。	○			・高次導関数の定義や表記を理解し、種々の関数の高次導関数を求めることができる。	定期考査 授業態度 課題
				○		・一般の第 n 次導関数を求めることができる。	
					○	・第 n 次導関数の式の形を予想しようとする。	